



2月25日、今冬一番の寒気団が訪れ、まとまった雪をプレゼントしてくれました。

広報 ひがし しらかわ

No.360
H3/3

発行 東白川村・編集企画課
岐阜県加茂郡東白川村神土
〒509-13 ☎05747-8-3111
印刷 下呂印刷株式会社

人口の動き

—2月末住民登録人口から—

世帯数	904世帯
人口	3,499人
転入	11人
転出	8人
出生	3人
死亡	4人

先月と比較して2人増
昨年同月と比較して
31人減

肥料袋そりはぼくらの自慢!!

ワイワイ、キャキャ「雪よようこそ!」と校内のミニゲレンデへ繰り出てそり遊びを楽しんでいるのは、東白川小学校1年生の児童たち。

ビニール製の肥料袋をそり代わりに、約100mのスロープを一気にすべり下りて、雪積の少ない村ならではの工夫したゲレンデに大満足の様子。

震動が直接おしりに伝わり、乗り心地こそプラスチック製には劣るものの、すべりの方は一歩も引けをとりません。

しかも、お金はタダで、カバンに収納自在とあって開校以来、肥料袋そりは東白川小学校の名物となっています。



転んでぶつかって元気いっぱい

大 きな歩で 踏み出す

勢で総合計画の実現に努力

新年度予算特集 I

総額	三十二億一千七百万円 (二二・五%増)
一般会計	二十三億八百万円 (三五・八%増)
国民健康保険会計	二億四千九百万円 (一四・七%増)
老人保健会計	二億五千四百万円 (二二・四%増)
有線放送会計	二千五百二十万円 (二〇・〇%増)
病院事業会計	三億八千八十万円 (一七・四%減)

高齢者福祉が第一の課題

私たちの村の平成三年度予算は三月十一日から始まった村議会定例会で承認されましたが、国や県の子算の伸びを大幅に上廻る、総額で二二・五パーセント増という大型となりました。特に中心となる一般会計は前年度の十七億円より一挙に六億円以上も多い三五・八パーセント増と、夢育ての超積極予算です。

私たちが最大の努力を払ったのは、最大の課題である高齢者福祉の課題を率直に見つめ、勇気と決断でこれに向って行く姿勢を明確に打ち出しています。

今、私たちの村がかかえている課題を率直に見つめ、勇気と決断でこれに向って行く姿勢を明確に打ち出しています。

二つの施設を同時着工

課題といえば、最も切実なことは「高齢化社会」への対策です。六十五歳以上を高齢者と呼びますが、村の人口に高齢者の占める割合が二二パーセントを超えている私たちの村は、す

に高齢化社会を迎えています。村の総合計画では高齢者に対する対策を、介護や支援を必要とする弱い立場のお年寄りと、健康で村づくりの戦力として活躍して下さる高齢者のふたつに分けて、それぞれ対策を行うことにしています。平成三年度はさっそくその両方の施設整備予算を計上しました。

身体が弱い人や、寝たきりのお年寄りのお世話をするデイサービスや短期預りなどのための「高齢者生活福祉センター」と、お年寄りの知恵と経験を發揮して社会にうるおいを与える「伝承の館」の建設がそれです。

ふれあい福祉「伝承の館」建設計画

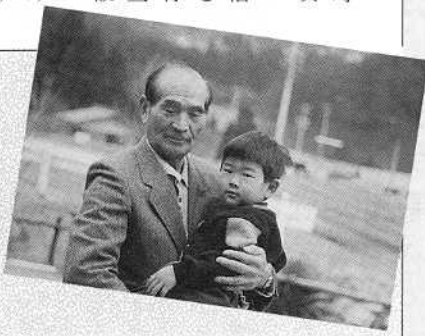
村に伝わる生活習慣とか、昔の民具、生活の道具づくりの技術などは、いまひとつの「資源」と考えられています。

これらのことはこのまま何もしないでおけば、消えて無くなってしまいます。そういう意味では非常に貴重な資源ですが、それを伝え、残すことは、それを知っているお年寄りにしかできません。

「伝承の館」はそのための施設です。貴重な「生活資源」をいろいろな方法で若者や子供たちに伝える活動をこの施設を使ってやっていただきたいのです。

この活動は、単に伝承するだけでなく、高齢者と若者や子供たちとの交流によってなたちますから「ふれあい」というもうひとつの目的がそれで達せられるのです。

建設場所は下親田の予定で、木造平屋建124㎡(およそ38坪)となっており、完成後は老人クラブ等の組織に管理を委託することになると思いますが、利用計画の中に夢を盛り込みたいものです。

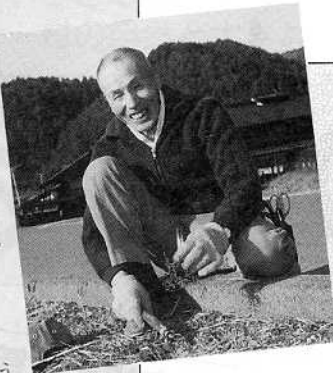


今一番忘れられていることが心の豊かさ。このふれあいの場で子供とお年寄りがいっしょになって、三世交代交流が出来たらと思います。(安江文吾さん(下親田))

建物も暖かく作りますが
心も温かくお世話をします

高齢者生活福祉センター

「高齢者生活福祉センター」何とも長い名前ですが、これは国の補助制度の名ですから、もっと気の効いた良い名前を皆さんに考えてもらいたいと思います。それはさておき、加子母村のディサービスセンターは大好評で、そこへ行く日を心待ちにしているお年寄りが多くあります。そこで私たちの村にもこれを造ろうということになったわけです。



朝、迎えに行き、夕方家へ送り届ける。その間、昼食はもとより、入浴、ゲーム、健康相談や指導など、身体の弱いお年寄りや動けないお年寄りが、この施設で楽しい時間を過ごしてもらいながら、生き生きとした余暇活動の充実を求めているのが、ディサービスです。

この施設はそればかりでなく、寝たきりのお年寄りをかかえて外出もできない介護者の方のために、一晩か二晩お預りするすることもできます。またひとり暮らしが心配なお年寄りの入居施設も備えた、在宅介護支援センターです。

しかも東白川病院の東隣りに建設しますから、定期的な検診や薬をもらいにくる日程をディサービスの日程と合せるという便利さも生れるでしょう。

建坪709㎡(215坪) 総事業費2億8,600万円余の、県下でも最初のモデル施設となります。

21世紀

積極的な

お年寄りが元気なら

村中が元氣!

高齢者対策で忘れてならないのは医療のことです。お年寄りの医療費は老人保健特別会計がら給付されますが、その特別会計が二億五千四百万円、このほかの老人クラブ活動の助成などを合せた高齢者対策費は五億八千八百二十一万円となり、六十五歳以上の高齢者一人当たり七十四万四千六百円となります。これは高齢者のためであると同時に、健やかな高齢化社会は結局それを支える若、壮年層の幸せにつながるという、保険料のようなものといえます。

これからは社協が主役
もうひとつの福祉の柱は、社会福祉協議会の活動です。

社会福祉協議

会は地域の人の助け合いの精神をもとにして村とは別の社会福祉法人として設立されたものですが、もちろん村と一体になって福祉活動を展開しています。これに対して新年度は六百五十万円の村費補助を予定していますが、そのほかに新しく家庭



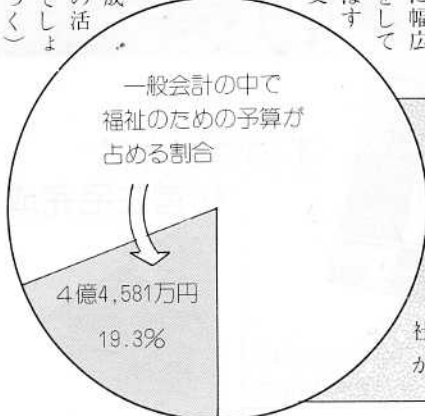
五加保育園

奉仕員(ホームヘルパー)の活動を委託することになりました。これによってホームヘルパーは新年度から社会福祉協議会の職員として身分も今まで以上に保証され、待遇も改善されることになりましたので、これを機会に増員することになり新しく募集をします。

「社協」という名で親まれて

いる社会福祉協議会の活動は、現在は加子母村でお世話になっているデイサービスセンターへの送り迎えもそのひとつですが、この自動車の運転には村内のボランティアのみなさんがご協力いただいております。

また、結婚相談や三世代交流事業、独居老人の慰安、身障者や精神障害の方の相談、それに人工透析通院助成など実に幅広くキメこまやかなお世話をしています。これらの活動はすべて助け合いの気持ちに支えられたものであり、会員の皆さんの会費は貴重な財源となっています。新年度はスタッフが充実して臨みますが、高齢者生活福祉センターの完成とともに、いよいよ社協の活動は大きく飛躍することでしょう。(次ページへつづく)



社協のお弁当サービスがうれしかった…(井戸千代さん=柏木)



高齢者センター
1日でも早く出来るといいなあ
(大坪すゑのさん=下親田)

都合のつく限りお手伝いします
ボランティア(河村繁治さん=)



ももりの身の廻り

く、そして地球にもやさしく

新年度予算特集2

つとめたい

近ごろは「環境」という言葉がひんぱんに登場します。快適な環境の中で暮らすことが最も価値のあることと考えられるようになったためですが、その環境には「作る環境」と「守る環境」があります。平成三年度予算ではその両方のバランスを考え、重点的な課題として取り組みます。

久しぶりの渡橋式

しかも二橋いっしょに

環境というテーマの中で道路を取り上げるのは厳密に言えばおかしいかも知れません。

しかし私たちにとって道路は私たちの生活が住み良いかどうか……という「環境」そのものです。ですからまず身近な環境の課題として道路を第一に考えなくてはなりません。

村のすべての道路のもとである白川加子母線は県道ですから村の予算には直接関係ありません。しかし最も重要なこととして進めて来ました。

その結果、平成三年度はまず五加バイパスの大沢から宮代までが開通することになりました。

六月ころには大沢橋と宮代橋と名付けられた二つの橋の渡り初めができそうです。

そして年度の後半には次の下野橋も完成し名南大学舎あたりまでの開通が期待できます。

一方越原バイパスも新年度は工事が着工され、同時に神土の病院前付近の改良も促進したいと思えます。

沢尻橋も今年着工

急ピッチで進む県道改良に合わせて、村道の整備も大幅に伸ばします。

三年がかりで改良してきた日向本線は今年の工事で完成を迎え、総延長千八百メートルの立派な村道として生まれ変わります。そして新しく大工事が始まることになりました。それは東白



木の香豊かに
村営住宅完成



天井部分の収納スペースはこの階段を利用します(村営住宅内部)



これからの道はうるおいのある楽しい
道…(宮代から大沢方面を望む)

村道は今年、これだけの改良整備を予定しています。

- ▷日向本線改良、猪薮前まで(完了)
- ▷宮代線舗装、県道バイパスから旧県道まで
- ▷平向線開設、釜淵から病院前の対岸あたりまで、(3年計画)
- ▷基幹農道後山線、舗装と開設
- ▷畑総事業●陰地線、杉田屋線、安岩線、同木林線、大沢東線、下野北線、片倉線(以上舗装)
- ▷小三地線、同木林線(橋梁)
- ▷農村総合整備モデル事業●神明線、一本線(改良舗装) 沢尻橋下部工
- ▷村単独農道舗装●氏神線、さかぶた線、紺屋線、中小笹線、岩屋線、神明神社線、えびや線、前野屋線(いずれも舗装)
- ▷村単独生活道整備補助●下親田で8路線 225m、上親田で11路線 408m
- ▷今年の道路整備は合せて、開設2路線約1,000m、改良舗装39路線約6,700m、橋梁3か所となります。また道路のあちこちに気持ちの安らぐ「道草スポット」を設けたいと思います。

小さな実行が 村の自然と大きな 地球を守る

私たちの住んでいる身近なところから環境を守るため、今年の4月から新しく次の4つの対策を始めます。

【使用済み乾電池の回収】

乾電池の水銀は人体に非常に大きな有害物質です。小中学校、商店、団体事務所などの協力で回収箱を置きます。

【食用廃油の回収】

使用済みの食用油は水に流さないで下さい。一升ビンに入れて役場へお持ち下さい、一升に対してスタンプひとつ差しあげます。スタンプがたまったら図書券と引き替えます。

【家庭用陶器の回収】

家庭で不要となった陶器は年2回の指定日(後日お知らせします)に集積所に出して下さい。(必ず陶器に限ります)

【白川の水質追跡調査】

清流白川の水質を決まった地点で、年に数回追跡調査して、その実態を調べます。いずれも小さな試みですが、環境を守るためにはこういう積み重ねと心がけが大切ではないかと思います。くわしいことは順次お知らせしますからご協力をお願いします。



住ん

人にやさ

次年度着工をめざして 水道計画を推進

平成二年度から調査設計を始めた簡易水道事業は、平成三年度も引続き設計を進め、認可申請をして平成四年の着工をめざします。

また、もうひとつの継続事業の村営住宅は木曾渡団地に二世帯分を建設しますが、平成二年度に建てた四世帯分は、この広報の出たころには入居者も決つて、新しい生活の営みが始まることでしょう。

着実に進めて行きま

自慢の清流 白川を

守るために

水道事業の計画に着手してから、私たちは「水」というものについて考える機会が多くあり、「水質」に関心を持つようになりました。そして家庭の雑排水が最も水質を汚していることを知り、何とかしてこの雑排水を浄化し、きれいな水を排出したいと考える人が多くなつ

ていることを知り、何とかしてこの雑排水を浄化し、きれいな水を排出したいと考える人が多くなつ

てきました。作る環境に対して、守らなければならぬ環境の代表的なものです。

その決め手として平成二年度から普及を始めた合併処理浄化槽は、新年度は倍近い二十基を予定し、国と県と村がそれぞれ三分の二ずつ出す補助金千六百四十八万円を計上しました。

このほか簡易集水榭の設置に対する村単独補助制度にも、従来の小型に加えてより浄化能力の大きい中型も対象にすることにしました。

ゴミの問題も真剣に考えなくてはなりません、上段枠内にあげた新しい対策の実行のほかに、ゴミを出さない対策、リサイクルによる有効利用などを考える機会をつくり、積極的に新しい対策を打ち出していきたいと思ひます。

病院入院棟に冷房設置

健康な生活のために医療の環境を整えることは、作り出し、そして守るといふ両方の要素を持っています。東白川病院は前年度の診療棟改修に続いて新年度は入院棟に冷房設備を設け、医師の体制も充実して医療サービスに努めます。(次ページへつづく)

水道を一日も早く引いてほしい(松岡成子さん=陰地)



20集落を対象に村内10会場で21世紀への夢をてがやガヤ会議を実施(写真=柏本)



新らしい試みにチャ

こころ

新年度予算特集3

チャレンジします

「人は石垣、人は城」とは武田信玄の言葉ですが、まさに人づくりこそ村づくりです。前年度から進めてきたこの「人づくり活動」は、第三セクターの設立などにつながり、大きな成果をあげました。平成三年度はこれをさらに積極的に進め、それが産業の発展の原動力にもなるような方向をめざしたいと思います。

感動が人を動かし村を動かす

現代は情報化社会と言われますが、自分で見て、体験して得た情報でないとその人を動かすほどの力になり得ないという一面があるようです。それほど情報氾濫の中で「感動」が失われているのです。

人づくりは人の内面を変え、心の成長を促がすことです。から「感動」が原点に無ければなりません。

平成二年に実施した「新規就業者研修・フレッシュバック90」は若い人たちにある感動を与えたことはまちがいありません。また村づくりの推進力である役場や団体職員を対象にした一

した。

新年度もこれらの研修は枠を拡大して行いますが、このほかに新しく「若社長研修」と題し村内企業の後継者たちを対象にして、企業経営の発展に役立つような人づくり活動を試みてみたいと思います。

「感動」という言葉は、感じて動く……ということ。一番大切なのは「動く」ということです。人を動かすようなそんな体験の場を提供し、動いた人を支



がんばります、おれたちの会社「ふるさと企画」

今年の1月生れた第3セクター、株式会社ふるさと企画は、いよいよ4月から本格的に動き始めます。

会社従業員の募集に応じて気鋭の二人が戦力として決定しました。

＝安江豊司さん＝ 岐阜市出身で神付の涉さんのお婿さん、家から通っていた川辺町の職場から転進（40歳）。

＝村雲和裕さん＝ 平の邦彦さんの長男、愛知県の電気店勤務からのUターン（27歳）

会社では3月上旬の役員会で経営計画を決定しましたがとりあえずふるさとセンターの完成を待って、ここに事務所をかまえ、特産品の販路拡張や商品開発を手

かけながら新しい交流産業の展開に向けて、じっくりと基盤をつくって行きます。ご期待下さい。



安江豊司さん



村雲和裕さん

泊研修も意識改革のうえで大きな成果をあげました。

援する、これが人づくり活動の基本的な方向です。活性化のための活動支援の面では新年度も夏まつりや産業祭などのイベント実施を見込み、花の都岐阜づくりに呼応して、花の道づくりや白川ぞいの景観整備を手がける予定です。

中学校にパソコンが入る

もうひとつの人づくり、それは教育の分野ですが、コンピュータ時代に生きるこれからの人材養成のため、中学校にパソコンを導入し、社会体育の面では五十歳代の体力づくりとふれあいのため、親しみ易い新スポーツの導入を試みてみたいと思います。また今年は文化講演会開催を予定しています。

一億円

のふるさと創生事業は「地域づくり推進事業」と名を変えて平成三年も継続実施されます。

この事業は地域の人たちがいきいきとした心豊かな生活をおくることのできる環境づくりが対象になります。

で、私たちの村では村民の皆さんから要望の多かったスポーツや文化やレクリエーション施設の整備にあて

ることにし、とりあえず百年道路によって便利になる後山地区にこれらの施設を配置することにしました。

これを「こもればの里」構想と名付け、平成三年度

こもればの里整備構想

話し合いで転作を、
転作で産地づくりを
=園芸作物に期待=

水田転作は今年も48.6haが割当てられていますが、今までは農地整備の面積がこれに計算されたので目標達成が助けられてきました。

しかし畑総事業の水田整備が終り、いよいよ実質的な転作で達成する必要に迫られます。

そのため営農組合単位で計画的な集団転作（ブロックローテーション）を進め、有効な農地利用のなかで転作を行うため、国の集団転作加算金の対象にならない規模に対しても、村単独の補助制度を設けることにしました。

これと合わせてトマトハウス設置、なすトマトの苗植栽事業などにも前年に引続いて助成し転作による園芸作物の産地づくりを進めます。

また、米づくりの機械化推進のため機械化営農組合の充実にも引き続き努力します。

道路工事の受益者負担を
軽減します。

村内の道路整備事業についてはその道路の性質に応じて、受益者の皆さんから負担金をいただいているものがあります。

その負担を軽くして一日も早く全村の整備を終るため、平成3年度から新しく着工する道路について、次のように負担率を変更することにしました。

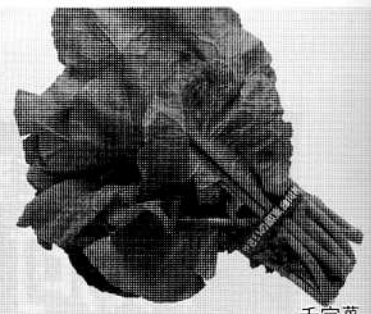
▷今まで負担率10%の道路=5%にする。

▷今まで20%の道路=10%

▷今まで30%の道路=15%

▷生活道舗装は今まで70%を60%
▷林道開設は今まで15%を10%とする。

このほか用地買収、立木補償などについても改善する予定で、総合計画にもとづき今後5年間で村内主要路線の全線整備を促進します。



千宝菜

個性豊かな
産地づくりを

農業はいよいよ世界経済の枠の中で動く時代を迎えつつありますが、それだけに逆に地域としての個性を主張する時代でもあります。

千宝菜を中心とした「健康農

産物の郷」づくりも、その個性化の一環として継続して実施し、新しく農協に設置される園芸指導員の活動を援助して、個性化農業の新戦力として期待します。

白川茶の生産安定に防霜施設の効果が大いいため引き続き補助制度を継続し、新しく夏秋なすの灌水施設設置に助成するなどキメのこまかい対策を講じて行きたいと思えます。

一方、林業面では林道開設三路線のほか、良質な東濃ひのきの生産のため枝打ちに対する村費補助制度を新設し、国の補助制度と合わせて村全域に広げます。

また森林組合の活動を通じて後継者育成、作業班強化、素材生産コスト軽減などの事業に取り組んで行きます。

林業に資源を求め木造建築の振興は、ここ数年力を入れて

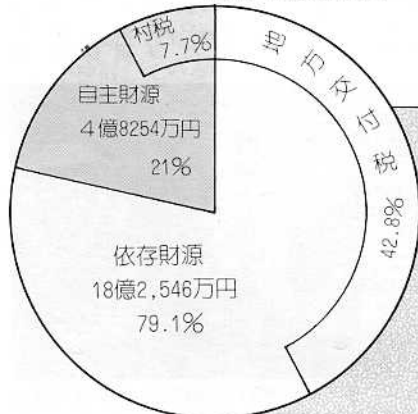
農業の拡大を進める
ための施策

農業の規模を拡大する方法として「農地流動」と呼ばれる農地の賃貸借がありますが、その借り手農家に対し面積に応じ補助金を交付する制度を新設し、あわせて新規に農業を始めようとする人に奨励金60万円を交付します。

また、農協の園芸指導員設置費に対し補助し、水田転作などの園芸振興を進めます。

一般会計歳入の内訳

総額 23億800万円



また人のつながりを大切にす
る思いやり予算として好評の
「里帰り旅費助成制度」も、対象
範囲を広めて、もっと多くの遠
隔地出身のお嫁さんやお婿さん
に利用してもらいたいと願って
います。

きている分野ですが新年度もブ
レカット工場の機械整備などを
予定し、商工会の活動援助も引
続き継続していきます。

今年も進める健康事業

「人づくりこそ村づくり」の
前提として「健康な人づくり」
があります。長い間進めてきた
東白川村の保健事業は今や大き
な財産として残っています。新
年度も成人病予防検診を始めと
する各種の保健事業は高いレベ
ルでこれを実施するほか、新し
く精神衛生講演会の開催を予定
しています。

交流の中から活気が生れてくる

は総合グラウンドの新設
に着手します。
引き続き自然を活かし
た体験宿泊施設や資料
館、体験農園などをつ
くり交流と憩いのゾー
ンとして整備します。

三年目を迎える
三重県香良洲町と
の交流は今年大き
な伸展があります。
久須見の村有林の中
に一ヘクタール程度の
「香良洲町・東白川村
ふれあいの森」を設け
ようという構想で、五
月ごろには香良洲中学
二年生が植樹を中心に一泊
の交流に訪れ、引き続きい
つかの交流イベントが行わ
れることでしょう。

香良洲町との交流の森

～ 村長在職20年 ～

故河田勘市氏を偲ぶ



信条 人生最大の幸福は健康にあり...



昭和二十六年四月村長に当選以来、連続五期当選、二十か年の長きにわたって村政を担当してこられた勲五等元東白川村長河田勘市さんが、二月二十二日八十六歳の長寿を全うして永眠されました。

ここに故人の多大な功績を掲載して、心から追悼します。

明治・大正・昭和そして平成の四世代にわたる功績

二月二十四日、悲しみを悼むかのような雪が散らつく中、しめやかに告別式が行われました。「今、あなたのご霊前にぬかづき道影を拝するときは、いつも温和な顔をほころばせながら、元気が体に気をつけてやれよ」との温かい声が聞こえるような気がしてなりません。

そして、在りし日の数々の思い出が去来し、万感胸迫り追慕の念ひとしおのものがあります。戦後の悪条件下で病魔に侵された村民の多きを愛した村長。人生最大の幸福は健康にある」との信念のもと、「健康な村」を宣言され、全力で村民

主な公職歴

の健康増進に尽してこられた河田さんの姿が、この日の桂川村長の弔辞の一節に偲ばれました。「質実剛健にして」という言葉を、機会のあるごと口にしてこられた河田さんは、医療施設の整備をはじめ、全国に先が

けて小・中学校の完全給食を実施。また、成人病一斉検診を県内でもいち早く取り入れ、「保健文化賞」の榮譽にも輝く実績と、村ぐるみで取り組む健康づくりの基盤を築いてくださった功績は、長く村史にその名を止めることでしよう。

安らかに眠ってください。



村民の山植樹祭にて、河田村長 写真左 (槇橋村有林 昭和43.5.1)

昭和十六年六月岐阜県農業技術を拝命、農業指導に挺身するかたわら、白川製糸販売組合理事・村学務委員・方面委員・村農業会理事等を兼務される。

昭和二十二年六月村助役に推挙されて、当時県議の職にあつた伊藤稔村長を援け、戦後復興期の村政推進にあたられた。

昭和二十六年四月村長に当選以来、連続五期当選、二十か年の長きにわたって村政を担当し、今日在る東白川村発展の基礎を築かれた。

在任中の主な業績は、「健康な村」宣言にはじまる保健行政の積極的な推進につとめるとともに、中学越原分校の建設（昭三十年）、成人の山および分取造林の設定（昭三十一年）、東白川病院の昇格（昭三十三年）、新農村建設計画の推進（昭三十五年）、中学分校統合および中

学施設整備（昭三十八年）、神戸保育園舎の建設（昭三十九年）東白川病院の増改築（昭四十年）農業構造改善事業の推進（昭四十一年）、母子健康センターの建設（昭四十三年）、山村振興計画の推進（昭四十四年）、東白川中学校校舎の建設（昭四十五年）、越原保育園の建設（昭四十六年）等々、数多くの功績を挙げられました。

特に保健行政は、「健康にして明るい村づくり」をモットーに、公的医療機関である東白川病院の拡充等、医療体制の強化を主体とした村民の健康管理を徹底するため、各種の保健活動を積極的に推進された。

その間、厚生・法務大臣表彰をはじめ岐阜日日賞・高松宮総裁賞など国・県等から数々の授賞の榮に浴し、特に昭和四十年には、村をして、保健面での最

高の榮与ともいうべき「保健文化賞」を授賞せしめる業績を遺された。

なお、在職中、村農業委員会会長・村森林組合長を兼務したほか、家庭調停委員・保護司・人権擁護委員・県国保連合会理事・県農業会議議員等の要職を歴任された。

村長退任後も引き続き県林業公社・県山林協会・県森連・全国林業普及協会等の各理事をつとめるなど山林行政の発展に尽された。

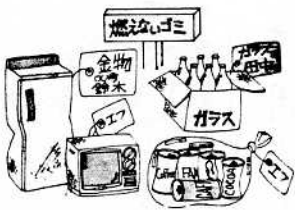
紺綬褒章二回受賞、また多年地方自治の発展に尽した功績により、昭和四十四年十月には綬褒章を、同四十九年十一月には勲五等（双光旭日章）に叙せられた。

ゴミにもちよっとした心遣いを...

村の環境を考えるシリーズの第一集として、前月号では、私たちの暮らしから出るゴミの行方を追ってみました。ところが、その取材を進める中でとても「残念」な話を耳にしました。

「東白川村の人は不燃物を出すマナーが悪い」というある回収業者の話です。耳を疑う気持ちでよく聞いてみると、「出したゴミに責任を持たないからすくい。名札を付けてくれなさいや困る」という苦情の声でした。

不燃物には必ず名前を！



ルールを守っている人から見れば、名札をつけることぐら

して出来ないんだろう」と首をかしげられることでしょう。

耳の痛い話ですが、「心ないごく一部の人の行為が、村全体の印象をも悪くしてしまっている」という事実は、とても残念なことです。

名札が付いていないと中身が何んでもあるかわからないばかりか、逆に「責任を持ってない物が入っているのでは」という憶

測が働き、中身を確かめる余分な手間をかけさせています。

「集落・世帯主の氏名・中身の内容」をエフに書き、責任の持てるゴミを出しましょう。

生ゴミは水を切って木曜日に



燃えるゴミの代表、生ゴミは、よく水を切って出してくだ

さい。

処理施設の火力が強いからといって、水にはかきません。ゴミ袋は役場住民窓口で販売

している十袋千五百円の専用袋を使用し、毎週木曜日に最寄りの収集ボックスに出して下さい。



ビン類は割らないでください！



「エツ」類は細かく割って

出すもんだと思ってた。それが親切だと私たちも思っていました。でも、資源化処理方式を採用している処理場では、ビンを種類ごとに分別し、原形のまま回収業者に引き取らせています。

焼肉のたれからのりのビンまで何でも結構ですが、中身を出してよく洗い、キャップを付けたまま割らないで出して下さい。誤って割れたビン類は、これまでどうりの方法で結構です。

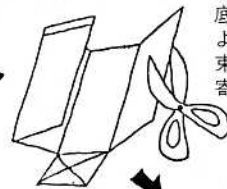
特別に指定した袋はありますので箱等を利用して下さい。

あなたもはじめませんか！牛乳パック回収運動

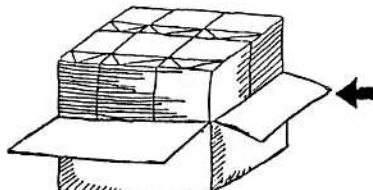
牛乳パックは、非常に良質なバルブを使用しています。これを再利用しない手はありません。

そこで、回収運動の輪が広がりがつある村内の若奥様たちの活動を村も後押しできないか検討しているところですが、現段階では若奥様たちのグループが回収日を有線等で連絡してくださる予定です。それまで、各家々でストックしておいてください。

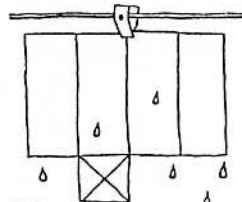
処理の方法は、牛乳の成分が残っていると再生不能になるため右の要領をお願いします。



はさみ等で切り開く。底はあちこちにくるようにする。束ねたとき、一ヶ所に片寄らないために、底は切りおとさない。



底は2枚づつ中へ折り込み、ダンボールや紙袋へ入れて保管する。束ねる単位は、10kg～20kg以内(1,000ml30枚・約1kg)です。



米のとぎ汁を利用すると残っている牛乳の成分を洗い落とす効果があります

きれいに水洗いし、乾かします。牛乳の成分が残っていると、再生不能となります。

※内部にアルミハクが貼ってあるパック（LL牛乳など）やジュースのパックは取り扱いません。

特ダネ

近ごろめずらしい ヒノキの曲芸!!



あなたは見たことが...

林道の測量に出かけた職員が思わず口にした言葉、「なんじやこりやあ!」。天高くまつすぐ伸びるはずのヒノキの幹が、クルリと一回りして再び空に向けて伸びていたのですから無理

もありません。「こりやあ特ダネだ!!」と気分って村有林の管理者に尋ねたところ、「昔はよく見かけたもんだ。手入れが進んだ今ではめずらしいが、中には直径五十センチほどの輪を作ったヒノキもあった。原因はツルの災いだろう!!」と軽くあしらわれてガックリ。しかし、「この曲芸は十数年間ツルに巻かれたままでいたあかし!!」という話に一度ビックリ!!

突破口

活性化は目標に向って ジャンプすることだ!!

「一団体では中央の講師も呼べないが、三団体が力を合せればお金もまとまり、いい講師が

迎えられる」と、二月二十日、日本農業新聞論説委員を努める久保井将雄先生を迎え「生き残れる山村とは」と題した第一

回山村活性化講演会が村民センターで開かれ、約百人が出席。ユーモアあふれる話がポンポンと飛び出し終始笑いを引き出しながらも、最後は、最大の欠点を最大の長所にした伊達政宗の人生観こそ突破口を開く鍵だと述べて講演を終えました。

本音

何とか一年、百姓で食って いきたい：それが夢だ!!



後継者ら約20人が出席

「半年休まず働き、半年は遊んで暮らせるようになれば:」

「山に依存せず一年を食っていきける農業でなければ:」

「農家として日銭がほしい。月給制とまではいかないにも、日銭が入るシステム化が必要:」

「休みが多く、楽で、もうかる農業でないと企業の雇用条件に対抗出来ない:」。二月二十日、農業について本音で語れる場を!!と村が主催した「農業を語る会」での意見です。

四十歳以下の後継者を対象にした第一回は、「農業をやる基盤

花心

冬から春への彩りを: 婦人部パンジーを植え付け



センター前で土こしらえをする婦人部員

「冬から春にかけて咲く花がほしいなあ」。そんな思いを膨らませていた商工会婦人部が二月二十四日、降りしきる雪の中、

役員十一人が出てスミレ科の越年草「パンジー」の苗百四十本を三十五鉢のプランターに植え付ける作業を行い、村民センター正面玄関などに置きました。

「花の輪を村内に広げよう!!」と昭和五十六年に始まったこの花いっぱい運動もこれで四季を通じて花を楽しむことができるようになり県提唱の「花の都づくり」に一役をかうものと関係者の期待を集めています。

（ん）（ば）（じ）（い）（け）

のほかに若者を呼び戻せる条件とは何か:」が論議の焦点となりました。

「他町村には年収二千万というような農家が実際にあり、一年を百姓で食えるあこがれる農業も決して夢ではない。高校へ入ってまだ方向を決めていない段階で実績のある農家の事例を紹介することも必要だろう。だが第一には、この東白川村であこがれる農家第一号の実績を作ることだ!!」と次回につながる活発な意見が交されました。

■戸籍の窓 二月 敬称略

誕生おめでとうございます

(陰地) 田口 和志 克大

(大明神) 安江 一成 栄策

(大沢) 小池 毅 一樹

万智子 (二男)

いつまでもおしあわせに

(堀部 一人 (岐阜市)

(安江まゆみ (黒瀬)

吉本 正巳 (上宝村)

安江 七美 (上親田)

おくやみ申し上げます

安江 定市 81歳 (黒瀬)

田口 博男 26歳 (神付)

河田 勘市 86歳 (西河)

手づくり

けんらん 絢爛豪華な繭づくしの おひな様

きらびやかな二段飾りのひな人形。カラーでお見せ出来ない



木製ケースは繭に似合う

のが残念です。

「和紙で作るおひな様をテレビで見ても、一つ繭で作ってみよう」と手がけてみました」という製作者は、繭細工でおなじみの栃山の安江幸さん(73)です。

おひな様の顔。そしてほんぼり、桜の花びら、刺しゅうに似せた細かな飾りは繭で、衣装、ひし餅などは真綿を紙状にし七色に染め上げたものを材料にしました。三月六日からの加茂繭文化展で銀賞に輝いた力作です。

混乱

帰れない"ホテル"缶詰の一夜： 志賀高原スキーツアー Ⅱ記

スキーヤーなら一度は行ってみたいところ：長野県の志賀高原スキー場は、若者のそんな思いを必ずや満足させてくれるロマンに満ちた場所。

「少し遠いがきつといいふれ

あいができるだろう」

第三回の青年フォーラム(白川・東白川独身男女の集い)企画委員会は、かくして二泊三日の志賀高原スキーツアーを計画。約三か月間の準備を経て二月十

オーナー

売り出せアイデア!ふるさと企画の事業に乗せて

天恵に浴する村の健康野菜を(懶)ふるさと企画の事業ルートに乗せよう!。そんな動きが陸地・日向の農家から早くも持ち上がり二月二十二日、関係者を囲んで野菜畑オーナーについての座談会が開かれました。



ふるさと会でのイモ掘り体験(H2・8)

これは、二区画十五坪(約五十平方尺)単位では場をいくつかに仕切り、それぞれの農地の利用者をふるさと会員らを対象に募ろうというもの。野菜の作付・栽培は農家が担当し、オーナー(持ち主)はふるさと企画が計画する交流イベントを兼ねた収穫祭に訪れるというシステムで、契約栽培方式を活用したものです。転作の一助ともなるこの「仮ふるさと農園」のオーナーは、この四月にも募集する計画です。

五日午後十時、参加者七十三人はあこがれの志賀高原へ思いをはせて出発して行きました。

翌朝十六日午前六時三十分、期待に胸を膨ませやつと着いた志賀高原は、テレビで見る別天地とは無縁の牙をむく大自然の猛威をそこに見るものでした。斜面をすべり下りようにも吹き上げる風が強く動けない。雪

は顔に突き刺さるかと思うほど痛く視界が全くきかない。それは、飛驒のスキー場で体験する吹雪とも違い恐ろしさを感じるものでした。そんな中でも根性で一日すべり終えた一行でしたが、吹雪はさらに激しさを増し、ナイトスキーは断念。その分交流が出来たのがせめてもの幸い。

翌朝も吹雪は弱まる気配がなくスキーを中止し、一時も早く帰路をたどるよう手配をとりました。ところが、バスは約東の午前九時を過ぎてようやくきません。一晩五十センチという積雪



大型バス約100台が、2km近くにわたって渋滞。この中に一行のバスも…(信濃毎日新聞より)

くスキーを中止し、一時も早く帰路をたどるよう手配をとりました。ところが、バスは約東の午前九時を過ぎてようやくきません。一晩五十センチという積雪

安江 谷太郎86歳(柏本)

■善意の寄付 敬称略

(病院医療器具整備)

現金一十万円(安江保民(神付))

(社会福祉施設指定)

現金一十万円(河田重喜(西洞))

(社会福祉協議会へ)

現金一十万円(つちのこ探

そう会)

(社会福祉器具指定)

現金十万円(安江千之(下親

田)▼現金五万円(安江章三

(大口)▼現金十万円(安江

健二(黒瀬)

(東白川小学校へ)

和卓五台(東白川P.T.A)▼

和卓一台(大明神木材)

は、渋滞、事故をも引き起こし身動きがとれない!という連絡が二時間後にやっと入りしました。しかし、以後の連絡はとだえ、予定にない三泊目を余儀なくされたのです。

ホテルの食料も底を尽きはじめ、カレーライスを分け合って食べた一行は難魚寝で不安な一夜を明かしました。わずかに六時

先のホテルへ向かったバスが到着したのは、まる三十三時間後のこと。さらに、車中での一泊を加え四泊五日に…。多くの入念に迷惑をお掛けしましたが、貴重な体験をお土産に無事帰村できました。

ドライポイント
東白川中学校
2年 安江和隆さん(陰地)



わたしの作品

ドライポイント
東白川中学校
2年 安江昌博さん(曲坂)

おしらせ



村議・村長選挙の

投票日は

四月二十一日

四月は、第十二回統一地方選挙が行われます。

県議会議員選挙は四月七日に、村議会議員選挙と村長選挙は四月二十一日に行われます。

選挙は私たちが政治に参加できる大切な機会の一つ。貴重な権利を放棄することなく、私たちの代表として政治を任せられる人を選ぶために、投票日には必ず投票に行きましょう。

なお、投票日に都合で投票できない人は、不在者投票ができます。また、身体に重度の障害がある人は、郵便による不在者投票ができます。詳しくは役場総務課の選挙管理委員会にお尋ねください。(有線二一三二)

郵便投票証明書の有効期限が切れます！早めに交付手続を！

郵便による不在者投票を行う場合は、選挙管理委員会が発行する「郵便投票証明書」が必要ですが、現在、交付を受けている証明書は今年度でその有効期間が満了となります。

引き続き証明書の交付を希望する人は、役場選挙管理委員会に申請書を受け取り、この三月二十五日までに新規証明書の交付手続きを済ませてください。

なお、身体障害者手帳の交付を受けた人で新しく郵便投票証明書の交付を希望する場合も、三月二十五日までに選挙管理委員会へ申し出て諸手続を行ってください。

公職選挙法改正 四つの行為に 罰則を適用

平成二年二月一日から、次の(一)から(四)までの行為は罰則付きで禁止されていますので注意してください。

(一)、政治家が……

ふるさとのことば 16

☆ あなさわ
どんびき

ぼつぼつかエルが冬眠から覚めるころとなりました。

「あなさわどんびき」については平成元年六月の広報三四〇号でちよつと触れましたが、もう少し詳しく……という声がありましたので、再度取り上げます。

そもそも「あなさわどんびき」は東白川村では越原黒淵の穴沢だけに生息するようです。アカガエル科のカエルで、春から夏の夕方、悲しい細い声で鳴くのが聞かれます。

古老の話によりますと、寛政のころ、越原の医師安江健順という人が、「あなさわどんびき」の肉が小児の

疳に特別の薬効があることを発見しました。かなり重症の疳の虫も、「あなさわどんびき」を皮と腸を取り去り、串に刺して焼いて食べさせると、びたりと治るというわけです。

だから、昔は穴沢のどの家にも「あなさわどんびき」が五串も六串も巻き薬に刺して、囲炉裏の上に吊してあったそうです。また、「あなさわどんびき」は、捕らえて串に刺し焼こうとすると手を合わせて拝むような姿になるので、別名「おがみかえる(拝み蛙)」ともいいます。

この「あなさわどんびき」、最近では環境の変化のためか、ほとんど姿を見ません。絶滅の危機を救う手立てはないものでしょうか。

☆がいろいろくだま

寒い冬が過ぎて、肌に暖かさを感じるころになると、田んぼなどに、いつの間にかカエルの卵がかえって、寒天状のぶよぶよした中に黒い塊がうごめいています。「がいろいろくだま」は「おたまじゃくし」のことで、カエルが孵化して間もなく、まだ四肢がなく、鰓で水呼吸して泳ぎ回る時期をいいます。

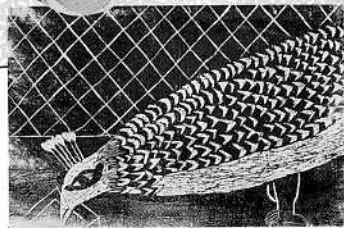
この「がいろいろくだま」は他の地方にその用例が見られません。



▲版画(歌舞伎)
東白川小学校6年
田口朝子さん(中谷)



▲版画(くじゃくさんおなかへったの?)
東白川小学校5年 山下奈緒美さん(神付)



▲いまいたいすけくん
下野(4歳)



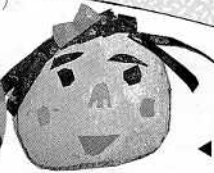
五加保育園
自分の顔



▲くりもとかおりちゃん
柏本(5歳)



▲ふるたあおいちゃん
柏本(5歳)



今月の図書

私のシベリア物語

澤地久枝著



留年と取調べと弾圧のなかで、何度か死と直面しつつも、日本の美術教育に徹し「教育とは何か、真実とはなにか」を論じつづけて後輩を導びいた「管季治」の生き方を著者はシベリアを旅して書き綴った心熱くなる著書です。

孔子

井上 靖著

語りがそのまま詩であり、思想となった「人類の教師、孔子の言説を14年の放浪亡命の旅にとらえ、戦乱の世にあって〈天命〉を生き、ついに絶望しなかった人間的魅力の謎を解き明す21世紀への夢を託す予言的な長編小説です。



- (一)、有権者が……
- 選挙区内の相手方に対して寄付をすること。
- 政治家に対する寄付の勧誘・要求をすること。
- (二)、後援会が……
- 花輪、香典、祝儀などを出すこと。
- (三)、政治家や後援会が……
- 選挙区内の相手方に対するあいさつを目的として、新聞、雑誌、テレビ、ラジオなど

以上、四つの行為によって処罰されますと、公民権停止の対象となります。詳しくは、役場選挙管理委員会へ。

により有料の広告(いわゆる名刺広告など)を出すこと。

進めています=ふるさとづくり

◆工事入札結果(工事名・工事箇所・事業量・事業費・施工業者・完成日・事業主体の順になっています)＝敬称略＝
【平】向山林道舗装工事・今井和道宅から西へ・延長215m・1,751千円・山田土建(株)・3/11・村

私の一品

ご覧になったことがありますか? 貝類の中で最も大型の「シャコガイ」を……。写真はその現物です。

南十字の宝物

実際の現地での休息。そのほとんどを、カジキなどの大物釣りをして楽しんだそうです。ボルネオ島に滞在したある日のこと、このあたりのサンゴ礁に分布するシャコガイを、「航海での記念に出来たら」と思い立った安江さんは、さっそく現地人の案内でボートを出し沖へ向いました。

シャコガイといえば、最大のもので殻長二層近くは達し、重量も二百超えのといえます。貝殻は扇を広げたような形で、太い五本の放射筋があり、殻質は厚く、光沢のある純白色をしています。

ボートを止め、四層五層素潜りしたところにいたシャコガイをロープで縛り、四人掛かりでやっと引き上げたその重さは約百斤。貝柱は長さ二十五センチ、直径八センチほどあって、サシミもいがバター焼が最高の美味とかが十斤はあろう。贖物は食用にできないものの気持ち悪く現地にやるところ喜んで持ち帰ったそうです。貝殻一枚三層四十斤もあるこのシャコガイを九州から三千円の運賃をかけて村へ送ったのが十数年前のこと。ヨーロッパでは教会の聖盤として用いられ、仏教では七宝の一つに数えられるシャコガイの殻は、まさしく安江さんの宝物です。

殻長約1mのシャコガイ



満1歳

まゆ
田口 菜由ちゃん
(義孝さん・鈴子さん
長女=平)



ゆうや
古田 侑矢くん
▲(辰夫さん・美香さん
長男=柏本)



しょう
安江 渉くん



ゆき
安江 祐紀ちゃん
▲(博文さん・紀子
さん二女=黒瀧)



たい
桂川 栄太くん

▲(公幸さん・孝枝さん
長男=大明神)

広報文芸

俳句

雪の庭 卒寿の文字を杖で書く
厚板を押して除雪 耕耘機
民謡の春の発表会 近付きぬ
南天の頭垂れ居る 今朝の雪
ペルシヤ 湾戦火メラメラ ストープ 燃ゆ
神はず仏も在らず 山眠る
ジェット 機音に翔び立つ 小鳥 冬初め
敷薬を持ち上げ 咲けり 福寿草
しわの手を愛しみ 受けけり 初手水
風花の舞い初め 来る 開戦報
御降りや 神木を傘に 燈の明し

① 御降り——元日に降る雨の事

あなたの作品をお待ちしています。投稿は、奇数月の二〇日までに西洞河田重喜あてにお寄せください。

狂俳

春めく 促成苺が店に出る
春めく 残雪まだらに山かすむ
春めく 育苗センター準備急ぐ
春めく 日差しの時間長くなる
春めく ごみ焼く火の粉風に乗る
○あふない 梅がほころぶ庭ぬくい
○春めく 初心者マークが突く走る
あふない マネキン 明るい色を着る
春めく 啓蟄近く虫うごく
春めく 一番搾りが喉を走る
○うまい

今回の題は「びかびか」「有難い」「御苦労」一題二句づつ募集します。日本一短い作句狂俳にあなたも挑戦してみませんか。投稿は、奇数月の二十日までに陰地安江永吉宛にお寄せください。

- | | | | | | | | | | |
|-----------|-----------|---------|------------|----------|-----------|-----------|-----------|---------|---------|
| 早瀬 勇造(神付) | 早瀬 勇造(神付) | 乙 村(下野) | 新田 義男(加舎尾) | 一滴 水(日向) | 村雲みか子(中通) | 田口 秋映(日向) | 田口 秋映(日向) | 志 陽(西洞) | 志 陽(西洞) |
|-----------|-----------|---------|------------|----------|-----------|-----------|-----------|---------|---------|

清流軒久永選

立村百年記念植樹



面の知識を提供して下さったFさんの、三月の梅の手入れメモは次の如し。花は咲いても受精ができなければ実にならない。受精を助けるのは花を訪れる昆虫だが、低温の時は昆虫の活動も活発でない。風の無い気温13度C程度の日は元気良く花から花へと飛び交ってくれる。こんな時人間はえてして「今日は風も無いし暖いから……」とゴミを燃やしはじめる。このごろのゴミには必ずといって良いほどビニール類が含まれているので、それが燃えて発生する有毒ガスに、せっかくの昆虫たちは一目散に逃げてしまつて梅の花の受精も夢と消える。

先月号のおし
まいにあげた
俳句、梅一
輪一輪ほどの
暖かさの作
者を、誰です
か?と尋ねた
女性があつた。
筆者の答えは
「句は有名や
けど作者は知
らんヨ……」
それから数日
「分りました
!」と、くだ
んの女性が差
し出したメモ
に、服部嵐雪
とあつた。
▼こうして大
勢の人から教
えを乞いなが
ら一年間書き
綴ってきたこ
のコラムもこ
れが最終会。
もつぱら技術

▼近ごろ最も多く見聞する言葉は「湾岸」と「環境」であるが梅のコラムにまで「環境」が顔を出すとは思ひも寄らないことであつた。そうなんです、ビニールゴミの焼却は立派な環境破壊なんです。しかし燃やさないわけにはいかないとすれば、ゴミとなる量を抑えることはできないか……深刻な社会的課題である。▼環境破壊の無かつたころの歌一首、しっかりと作者名付きで紹介しよう。吹く風を何厭ひけん梅の花散りくる時ぞ香はまさりける。凡河内躬恒。(おわり)